

鳥類も地上に降ります。主に樹上生活をしている小鳥も、餌を求めて地上に降りる行動は普通に見られます。猛禽（たとえばフクロウ）も、地上のネズミを得るために地上に降ります。そのような樹上生活者とちがって、人生（正確には「鳥生」）の大部分を地上で生活する鳥類もいます。

たとえばキジが良い例です。キジも飛翔能力はありますが、飛ぶことは稀で、飛んだとしても短距離が多いです。営巣も地上なら、子育ても地上です。成鳥もほとんど地上で生活しています。今の時期は、キジも「恋の季節」なので、オスは縄張りからほかのオスを締め出すために、頻繁に「パトロール」のために歩き回っています。

動画は私の山荘の裏庭に現れたキジのオスで、周囲を相当に警戒しながら、広範囲を歩き回っていました。特に赤い色で動くものは他のオスと認識し、激しく威嚇します。時には郵便配達のパイクが追いかけることもあります。この日は、時々甲高い声で「ケンケン！」と鳴きながら、羽を大きく羽ばたかせる行動も見られました。

(2024年4月中旬／北軽井沢)

